

ピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MAC 2015年度活動報告書



ピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MACとは

地雷廃絶を目指し、NGOピースボートのプロジェクトとして1998年に設立しました。平和、人権、環境、国際交流などをテーマとしたピースボートの地球一周クルーズで、カンボジアや旧ユーゴスラビアなどを訪れ、深刻な地雷被害の状況を知ったことが設立のきっかけです。地雷による被害者は、わかっているだけで世界中で1日に10人（2015年現在）。たとえ戦争が終わったと報道されていても、その地域に暮らす人々にとって、地雷がある限りまだ戦争は終わっていません。P-MACは発足以来、地雷廃絶を目指して、地雷除去や被害者への支援、地雷問題を伝える活動を続けています。

カンボジアから地雷をなくそう100円キャンペーン

地雷除去には膨大な時間と労力がかかります。しかし、地雷除去にかかるコストは1㎡あたり約100円です。そこでP-MACでは、募金活動「カンボジアから地雷をなくそう100円キャンペーン」を展開しています。集まった募金は現地地雷除去団体「CMAC（カンボジア地雷対策センター）」へ送り、地雷除去がおこなわれています。

2015年度 100円キャンペーン募金報告

【募金総額】

2015年度の募金総額	¥1,790,762-
2014年度より繰越金	¥1,962,644-

合計	¥3,753,406-
----	-------------

【上記の募金は以下のプロジェクトに使用しました】

スナハイ村地雷除去	¥1,016,562-
次回へ繰越	¥2,736,844-（2016年5月に開始する地雷除去後の土地への小学校建設にあてます）

合計	¥3,753,406-
----	-------------

地雷除去支援したスナハイ村について

カンボジア北部、タイ国境に面したプレアヴィヘア州に位置するスナハイ村は、カンボジア内戦中の1986年から1989年まで軍事基地が置かれ、激戦地となったため、今も多くの地雷や不発弾が残っています。

その後はジャングルとなっていたこの土地に、農地を持たずに貧しい生活をしてきた人々が各地から集まり、2005年にスナハイ村が誕生しました。人々が移住した後に、村の多くの土地が地雷原だと判明しました。しかし人々にとって、スナハイ村は地雷が埋まっていようと、ようやく手に入れた自分たちの土地であり、希望の村です。P-MACは、人々が安全に暮らせるように、2010年以降、スナハイ村の地雷除去支援を進めています。



全ての子どもが学校に通えるように！

ジャングルの中のできたスナハイ村には小学校がなかったため、村人たちは小さな校舎を建て、ボランティアの先生を探しだして、村人による自主運営の学校がスタートしました。村人の努力により、この手作りの学校は2014年に公立小学校として認められました。

現在、村には約350人の子どもたちが暮らしていますが、小さな教室ではすべての子どもたちが授業を受けることができません。そこでP-MACは、新たな土地の地雷除去と小学校建設を支援しています。2015年度は、学校予定地の地雷除去を支援しました。2016年度には、その土地に小学校を建設します。



<地雷除去報告>

場所	カンボジア プレアヴィヘア州スナハイ村 Sna Pha Ek Village, Srayong Commune, Kulen District, Preah Vihear Province
地雷除去期間	2015年4月20日～2015年7月21日
実施機関	CMAC第4部隊第13地雷除去チーム
地雷除去費用	1,016,562円 (8,140.97米ドル)
除去面積	72,094㎡
除去された対人地雷	46個
除去された不発弾	33個

<スナハイ村訪問報告>

地雷除去活動を見学しました (2015年4月25日)

第87回ピースボート「地球一周の船旅」でおこなった地雷問題検証ツアーで、地雷除去開始から5日目に現地を訪問しました。4月はカンボジアでもっとも暑い季節で、この日の気温は40度を超えています。そんな中、4人の作業員がずっしりと重いヘルメットや肩から膝まである大きな防弾ベストを装着して、草木を刈りながら少しずつ金属探知機で地雷探知の作業を進めていました。



この日は、作業中に発見した地雷の爆破作業も見学しました。地雷に火薬を取り付け、爆破作業の準備を進めます。その後、爆破の2分前からカウントダウンが始まります。現場のすぐ近くには家があったり、近くの道をバイクが通ったりするため、周辺にも爆破することを伝えます。爆破の瞬間、煙が上がったのちに乾いた爆発音が響き渡りました。

その後は、スナハイ村の子どもたちと交流し、黒板とチョークを渡しました。以前にスナハイ村を訪問した際、学校の先生から「子ども達は筆記用具を持っていないので、授業で習ったことは暗記して覚えるしかありません」と聞いていたため、今回は子どもたち一人一人が使える小さな黒板350枚とチョーク1,500本を届けて、子どもたちに手渡しました。この黒板とチョークの購入は、P-MACの活動に協力いただいている社会人バンド「メロメ」のみなさまにご支援いただきました。



現在のスナハイ村小学校を訪問しました (2015年12月28日)

第90回ピースボート「地球一周の船旅」でおこなった地雷問題検証ツアーで、再びスナハイ村を訪れました。この日は日曜日だったため学校は休みですが、私達の訪問のため、子どもたちと先生約100人が集まってくれました。

案内された現在の小学校は木材を使って作られた小さな建物で、薄い板で区切られた教室が2つあるだけです。子どもたちが座ると教室はぎゅうぎゅう詰でした。また、外壁は覆われていないところもあり、雨風を遮ることができません。雨が降ると、子どもたちが濡れてしまって大変だと先生は言います。ですが、スナハイ村には電気が通っていないため、壁をつくると教室内は暗くなってしまいます。机やイスも手作りのもので、多くの子どもたちが座ると壊れるのではないかと心配になります。村の人々はもうすぐ新しい学校ができ、子どもたちが安全に学べることに大きな期待を寄せていました。



10年前に支援をした小学校からの報告

カンボジア北部に位置するコーケー村では、小学校がありませんでした。2005年、P-MACはコーケー村の地雷除去とその土地への小学校建設を支援し、初年度は6～18才の約100名が1年生として入学しました。安全な学校ができたことで、他のNGOなどもこの学校への教育支援を開始しました。P-MACはその後も、村の地雷除去や学校図書館の支援、文房具の寄付、村人との交流を継続的におこなってきました。内戦の影響で小学校を卒業できた村人は10人もおらず、子どもたちが学ぶ場もなかった村で、現在は小学校卒業後も勉強を続けて大学に進学する子どももいます。ジャングルに囲まれた小さな村の子どもの将来が、地雷除去と小学校建設によって大きく変わりました。

写真：1年生に文字を教えるコーケー小学校の校長先生



障がい者への木工彫刻トレーニング

カンボジアの障がい者の自立を支援するため、現地NGO「アンコール障がい者協会（AAD）※」がおこなう木工彫刻トレーニングを資金面でサポートしています。彫刻技術を習得し、商品を作成、販売し収入を得ることで、貧困に苦しむ障がい者やその家族がより良い生活を送れるように支援しています。AADでつくられた彫刻をピースボートの船内で販売し、売り上げの一部を彫刻トレーニングにあてています。

<2014年度（2014年7月～2015年6月）報告>

2014年度は3名の障がい者がトレーニングを受けました。はじめの2か月は彫刻刀の使い方と手入れの方法を時間をかけて学びます。3か月目からは、ようやく彫刻する絵の描き方と木の削り方を練習しました。これまで適切な教育を受けることができなかつた生徒たちにとっては作業を長時間続けることも難しく、一つ一つ時間をかけて、何度も繰り返し訓練をしました。トレーニングが進むにつれ、生徒たちも熱心に学び、終了時には商品として販売できる技術を得ることができました。



彫刻技術のトレーニングと同時並行で、障がい者の権利について学ぶ機会をつくることで自身の守り方を伝えました。また、彫刻技術をこれからの生活に生かせるよう、販売方法や得た収入の管理方法、新しい商品の作り方などの教育もおこなわれました。

2014年度トレーニング受講生



リム・リエン
シェムリアップ州出身
1992年にポリオを発症



オウ・パンナ
プレアヴィヘア州出身
1993年に地雷被害に遭う



ハット・ホン
シェムリアップ州出身
1989年に地雷被害に遭う

※アンコール障がい者協会 Angkor Association for the Disabled

内戦中、地雷被害に遭い両脚を失ったセム・ソワントが2003年に設立したNGOです。障がい者の差別と貧困のサイクルに終止符を打ち、経済的・精神的な自立を通してよりよい未来をつくるため活動しています。

「カンボジアから地雷をなくそう 100円キャンペーン」街頭募金活動

全国5カ所のピースボートセンター（東京、横浜、名古屋、大阪、福岡）で街頭募金活動をおこない、カンボジアの地雷除去支援に充てています。2015年度は全国で合計101回の街頭募金活動をおこないました。



カンボジア地雷問題検証ツアー

ピースボート地球一周の船旅において、カンボジアの地雷除去現場の視察や地雷被害者との交流、地雷除去を支援した村を訪問するスタディーツアーを実施し、合計34名が参加しました。（以下は実施クルーズとツアー実施時期）

- 第87回ピースボート「地球一周の船旅」（2015年4月）
- 第90回ピースボート「地球一周の船旅」（2015年12月）



なんだろう地雷出前教室・勉強会

地雷問題を多くの人々に知ってもらおうと出前教室や勉強会を実施しました。

- 横浜のシニアクラブ「野あざみの会」で「なんだろう地雷出前教室」（2015年9月）
- 勉強会「わたしがつくるHAPPY! カンボジアの女性障がい者と共に」（2016年2月）
- 岡山市立京山中学校で「なんだろう地雷出前教室」（2016年3月）
- 修学旅行生などの訪問学習受け入れ（通年）



イベントへのブース出展

ピースボートブース内で、100円キャンペーン募金への協力呼びかけや地雷被害者が作成したグッズの販売をおこないました。

- グローバルフェスタ JAPAN2015（2015年10月）
- ワールド・コラボ・フェスタ2015（2015年10月）



地雷除去、地雷被害者支援をおこなうP-MACへのご協力をお願いします

募金活動への参加・「なんだろう地雷出前教室」のご依頼はメールでお問合せください。

E-MAIL : pmac@peaceboat.gr.jp

皆さまからいただいた募金は地雷除去・被害者支援などの地雷廃絶活動に使わせていただきます。

郵便振替口座 00130-3-557600

ゆうちょ銀行 ゼロゼロイチキョウ店（019店）

加入者名 ピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MAC

ピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MAC 2015年度活動報告書

発行：ピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MAC

編集：森田幸子 発行日：2016年7月11日

[お問い合わせは下記までお願いします]

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1

TEL : 03-3363-7561 FAX : 03-3363-7562

E-MAIL : pmac@peaceboat.gr.jp

URL : <http://peaceboat.org/projects/pmac>